

秋田県では、県内の医療福祉従事者とのづくり企業等が連携した医療福祉機器等の開発促進を目的として、ニーズ発表会を開催します。

当日は、医療福祉従事者からのニーズ（開発アイデア・困りごと）7件の発表に加え、医工連携に必要な取組などをオルバヘルスケアホールディングス株式会社の本田佳範氏にご講演いただきます。

開催  
日時

令和5年 **11**月**7**日（火） 13:30~15:30

開催  
形式

**現地会場とオンラインのハイブリッド開催**

現地会場：秋田県庁第二庁舎3階 31会議室（秋田市山王3-1-1）

オンライン：Zoomウェビナー

## プログラム

### ■第1部■ 講演（13:35~14:00）

#### ○業界参入を目指す企業様へ小さなヒント —医療機器販売業の医工連携活動経験から—

オルバヘルスケアホールディングス株式会社

学術本部 市場開発室

医工連携推進リーダー 本田 佳範 氏



#### 講師プロフィール

医療機器販売ディーラーで28年間営業を経験した後、医工連携医療機器開発部門を任され今年で9年目となる。販売業（非製販）の医工連携ベストプラクティスを探求中。

### ■第2部■ ニーズ発表（14:00~15:30）

#### ○医療福祉従事者団体の業務紹介

秋田県臨床工学技士会、秋田県理学療法士会、

秋田県作業療法士会、秋田県言語聴覚士会

#### ○医療福祉従事者のニーズ発表

腹臥位療法に使用できる万能クッション	体圧分散と患者の体格に合わせた厚さなどを調整できるクッション。
車椅子利用者の急変時対応	車椅子の背もたれ・座席・下肢部の3点がワンタッチで外せて簡易的な担架として利用可能。
送信機落下時の故障回避のためのシリコンカバー	病棟では様々な患者様が心電図送信機を装着するため、落下させてしまい破損してしまうことがあり、送信機にカバー（シリコン等）を装着することで落下や衝撃による故障を未然に防ぐ。
固定性が高く足を上げやすくした着脱しやすい屋内移動用シューズ	足首を固定すると歩きやすくなるが、固定を要するため着脱が煩わしいという欠点がある。踵の部分が開口することでスリッパのように簡易的に着脱可能とすると着脱が楽になる。さらに、ワイヤー牽引で足部の固定性を高め、足首の角度を調整できる屋内移動用シューズ製品の作成を提案する。
軽い力で移動可能かつ小回りが利くベッド	高齢者施設等では車椅子に移ることのできない利用者をベッドごと移動する機会が多い。ベッドでの移動は重く力が必要であり、曲がる時の操作も壁にぶつからないようにすることが難しく、介護士等の負担となっている。自走可能なベッド、もしくは移動をアシストするロボットも開発・製品化されているが、費用やメンテナンス、充電の手間等を考えると、より簡易な工夫で上記課題を解決できる製品のほうが現場では実用性が高いと思われる。
外国人労働者との秋田弁コミュニケーションツール	介護を担当する特定技能実習生が学んでくる日本語では、秋田県内の施設に入所している高齢者や、職員と円滑にコミュニケーションを取ることができない。その場で翻訳して、なおかつ練習できる翻訳機があれば、そのような課題を解決できるのではないかと。
個々の足の変形に応じたフットサポート	車椅子を使用している施設入所者等について、足底をフットサポートにしっかり接地できない場面が多く見られる。フットサポートの高さや角度を3次元レベルで調節でき、かつ既存の普通型車椅子にも取り付け可能なものがあれば、多くの車椅子利用者の身体的負担を軽減できると考える。

## 申込方法

- カンファレンスパーク(\*)秋田県プラットフォームの「参加登録」より青色のパナーのメインチケットの中から所属されている企業等の分類を選択し、登録手続きをしてください。
- 上記手続きが完了しましたら、上記と同じ「参加登録」へ再度アクセスし、ピンク色のパナーのサブチケットの中から「医療福祉従事者ニーズ発表会」を選択し、登録手続きをしてください。

申込〆切：11月6日(月) カンファレンスパークURL：<https://conference-park.jp/conference/27>

(\*)株式会社日本医工研究所が運営する医療機器等ビジネスマッチングサイトです。

## お問合せ

秋田県 産業労働部 地域産業振興課 医療福祉産業チーム

TEL：018-860-2246 FAX：018-860-3887 メール：induprom@pref.akita.lg.jp



カンファレンスパーク